

## 海外放射光施設、ビームライン利用事情

田辺幹雄

高エネルギー加速器研究機構、物質構造科学研究所、Photon Factory、構造生物研究センター

放射光施設において、タンパク質結晶構造解析用ビームラインの近年の開発は目覚ましく、ビームの高輝度化、微小化や測定の自動化が進んできたことにより、回折実験への取り組み方も大きく変化してきた。私自身イギリスで博士課程を始めて以来、アメリカ、ドイツ、そして日本の研究所で働く機会を頂き、異動と共に欧米の様々な放射光施設、ビームラインをこれまで利用してきた。

海外の放射光ビームラインでは、時代や技術の進歩と共に移り変わるニーズをどのように捉え、利用者に提供してきているかを、いくつかの実例を挙げながら紹介したい。またアカデミックユーザーの視点から、実験設備、自動化プログラム、サービスなど、どのようなビームラインが、より利用しやすいのかを皆さんと一緒に考えたい。